



新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。大東文化大学では、前期の登校率は5割、後期の登校率は3割程度でした。パソ

コンは、オンライン授業が中心となったため、過去最高の販売となりました。一方で、生協の加入率は、大幅に減少となり、厳しい状況が続きました。

次年度は今のところ対面授業中心に行うことが発表されております。他業者の撤退により、大学内の食堂が生協のみとなったため、大学からの期待も大きくなっております。

新学期に、学生さんが大学に皆さんいらっしゃることも、しっかりと昼食をとって頂くことができるよう準備をすすめております。また、引き続きパソコンの販売もしっかりと行うことで学生の学びを支えてまいります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



大東文化学園生活協同組合
専務理事 石橋 健司

新年のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

2021年は2020年同様生協の事業活動は新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた1年となつてしまいました。

卒業式は行われましたが午前・午後の2部制となり、保護者の方は参加できず、卒業生のみでの参加となりました。その中でも卒業式が開催された事もあり、生協では卒業袴の貸出、着付けなどの対応をさせていただきました。

入学式も同じく、2部制で行われ、保護者の方は参加できませんでしたが、新入生の方は新しく始まる大学生活に希望と目標を持ち、大学に入学されたと思います。

登校は2020年同様、分散登校で、遠隔授業と対面授業のハイブリッド方式で多くの授業が行われ、学生の皆さんの登校が少ないため、生協の事業（特に食分類）は大きな影響を受けました。

今年度も引き続き新型コロナウイルス感染症の影響は生協事業にも大きく関わって来ますが、組合員の皆さんに必要とされる生協になるように努力してまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



十文字学園生活協同組合
専務理事 大竹 康之

新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

淑徳大学みずほ台生活協同組合は新年度で25年目を迎えます。昨年も

コロナ禍による影響で大学・学生にとっては大変な一年となりました。対面での授業が再開されましたが、感染対策やハイフレックス型の授業の準備などで慌ただしい時間を過ごしています。大学に関わる人にとっては新しい学びの形が求められています。

組合員が生協へ求めることもこの1年で劇的に変化しました。店舗に来なくても利用できるサービスや情報発信など今まで以上に考えていかなければいけません。そういった変化に対応し、生協ができることを考え、大学・組合員から必要とされる生協を目指していきたいと思ひます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



淑徳大学みずほ台生活協同組合
専務理事 松原 健司

新年のごあいさつ

あけましておめでとうございます。

私たちのくらしは今もコロナ禍に翻弄され続けています。世界では感染者数が増え続ける一方、経済活動の再開も進んでいます。しかし、食料価格や原油価格の高騰で世界的なインフレが懸念され、消費者・組合員のくらしは厳しさを増しています。

コロナ禍は、環境問題、貧困と格差、少子高齢化、人手不足など先送りにしてきた社会・経済の構造問題を浮き彫りにしました。コープデリグループは食とくらしに携わる事業者としてこれらの課題に向き合い、社会に求められる役割を果たしてまいります。

SDGsの目標年まであと8年。事業と活動を通じ、“誰一人取り残さない”社会の実現に向けた取り組みを進めてまいります。

本年も皆さまのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



コープデリ生活協同組合連合会
理事長 土屋 敏夫

新年のごあいさつ

明けましておめでとうございます。

2021年も新型コロナウイルスの感染拡大が続く一年となりました。その中で感染拡大防止を図りながら配達事業と活動を継続してきたことで組合員と地域のくらしに少しでも貢献できたと考えています。

6月の通常総代会では、コロナ禍でさらに広がった地域の困窮問題や医療を支えてくださっている方々のお役に立てるよう「貧困・医療支援積立金」を承認いただきました。そこから医療生協さいたまに医療用物資（ニトリルグローブ）、フードバンク埼玉に産直米とレトルトカレーを贈呈できました。

くらしは厳しくなり、貧困や環境問題など大きな課題もありますが、組合員や地域の方々と一緒に理念である「共生の社会づくり」を進めていく一年にしたいと思ひます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



生活協同組合パルシステム埼玉
理事長 樋口 民子

新年のごあいさつ

新年おめでとうございます。

長引くコロナ禍ですが、昨年オンラインを使った活動が活発になり、実対面の交流も徐々に増え始めました。

今年は、3店舗目となるデポー越谷（生活クラブのお店）を開所します。

「デポーはまちづくりのスターター」を合い言葉に共同購入の拠点だけでなく、地域の出会場の場として、たすけあいのまちづくりをすすめます。そして、デポー運営はワーカーズが担います。労働者協同組合法の制定と合わせ、ワーカーズという働き方はこれからの時代に必要な仕組みです。

また、SDGsの目標達成のため推進すべき行動を示した「第一次 生活クラブ2030行動宣言」は、さらに検討を重ね「第二次」を作っています。

どの課題においても、県内各生協や諸団体、行政機関とのつながりを深め、おおぜいが暮らしやすい社会を目指してまいります。本年もよろしくお願いいたします。



生活クラブ生活協同組合
理事長 石井 清美



コバトン さいたまっち



これまで、
これからも二刀流で

新年あけましておめでとう
ございます。日頃より医療生協の活動をご支
援いただき誠にありがと
うございます。

昨年はコロナ禍が収まらず明るいニュースが少な
かったせいか、大リーグでの大谷翔平選手の二刀流
が大きな話題になりました。二刀流という難しい目
標にチャレンジし結果を残したことが評価されまし
た。そんなニュースを聞きながら、改めて私たち生
活協同組合も二刀流だと実感しました。事業活動を行
いながら、誰にとっても暮らしやすい地域社会を作
るための運動に取り組む。しかも、この二つに取
り組むことはかなり難しい。でも少しずつ結果を残
しています。コロナ禍で学んだことを生かしなが
ら、今年も来年もずっと二刀流で頑張りたいと思
います。

この新しい年が皆様方にとって健康で笑顔ある一
年となることを心より祈念申し上げまして、新年の
ご挨拶とさせていただきます。



医療生協さいたま生活協同組合
理事長 雪田 慎二

新年のごあいさつ

お健やかに新年をお迎
えのこととお慶び申し上
げます。

一昨年からのコロナ禍
の影響を受け国内外の経
済活動にも大きな弊害をもたらし、なお異変種の感
染拡大によって、人々に不安な日常生活をもたら
し、今も、終息の兆しが見られない状況にあります。

私たちは、まず自分のできる対策として感染拡大
防止に向けた対策を常に講じることが大切なこと
であります。

生協の活動も全国的に衣食住等に亘る福祉への取
り組みに、組合員から大きな期待が寄せられていま
す。

当生協も、前年に引き続き、今年度も安全第一を
モットーに住環境の老朽化対策として、メンテナ
ンスの向上に努めたいと思います。

新年を迎え、組合員皆様のご健勝を心よりご祈念
申し上げます、今年もよろしくお願ひ申し上げます。



埼玉県勤労者生活協同組合
理事長 関根 正道

無認可に決別 保育生協 解散

保育生協では保育園・
幼稚園の認可がとれず、
無認可で公的負担ゼロ 子どものその保育生活協同組合
の苦難をついに乗り越え 理事長 能登 眞作
て、創立50年後の2015
年に幼保連携型認定こども園の認可を獲得できまし
た。一つの庭に幼稚園も保育園も同居する新しい制
度は、私たちの要求で実現したものです。昨年6月
の保育生協総代会で、園児をすべて認定こども園に
移動させ、保育生協は解散することを議決しました。
現在組合員の出資金の返還を進めています。古い組
合員も含めて全員に返還を完了する予定の今春3月
31日に解散し、一年以内にすべての作業を終了した
いと考えています。長い無認可の苦難を振り返れば、
認可を得ての解散は、保育生協の勝利であり誇りで
す。



子どものその保育生活協同組合
理事長 能登 眞作

新年のごあいさつ

あけましておめでとう
ございます

“経営から組織へ”、協
同組合の本質から組織
を見直していきたい、と
いうのが今年のテーマで
す。経営問題では、関係
者の皆さんにはご心配も
おかけしておりました。



生活協同組合・さいたま高齢協
理事長 坂林 哲雄

この1年余り、コロナ
禍の中で、多くの困難を感じながら、職員一同が経
営改革に取り組み、今期の黒字は確実と言える段階
に至ることができました。数字だけを追えば本質を
見失うこととなります。結果につながった要因の一
つは、職員に経営を公開し共に考えることに徹して
きたことです。

協同労働という考え方の根幹に「話し合う」とい
うことがあります。みんなで情報を知り、話し合う。
決めたことはみんなで取り組む。職員の団結と福祉
に対する献身性があって辿り着けたと思います。

今年、経営を更に強固にするために組織改革に
取り組みます。高齢協とは何か、その存在目的から
現状を見直していく予定です。

本年も宜しくお願ひいたします。

新年のごあいさつ

明けましておめでとう
ございます。

昨年は10月の千葉県
北西部を震源とする地震
により、埼玉県内でも川

口市・宮代町で東日本大震災以来、最大震度5強を
観測しました。被災された皆さまに謹んでお見舞
いを申し上げますとともに、被害を受けられた組合員
の皆さまの早期の生活再建に向け、迅速な損害調査お
よび共済金のお支払いに努めてまいりました。最後
のお一人まで、しっかりとお支払いの対応にあた
ります。

本年も、こくみん共済coopでは「みんなでたすけ
あい、豊かで安心できる社会づくり」の理念のもと、
子どもの健全育成や社会課題の解決に寄与する取
り組みなど、組合員の皆さまが安心して生活が送れる
よう、安心と信頼の「共済生活協同組合」の役割を
果たしてまいります。

結びに皆様のご健勝を心よりご祈念申し上げ、
新年の挨拶とさせていただきます。



埼玉県労働者共済生活協同組合
理事長 金井 浩

創立30周年の節目の年、 継続は大きな力 組合員に依拠して さらなる前進を目指します

明けましておめでとう
ございます。新型コロナ
ウイルス感染の終息、そ
の後の新たな日常生活を
一日も早くスタートさせたいものです。

総代会で掲げたスローガン「組合員の信頼に応え
組合員を主人公に」「コロナ危機を乗り越え安定した
経営の確立」を目指して活動してきました。今年8
月創立30周年を迎えます。組合員に信頼され30年
間継続して事業、生協運動を進めてくることができ
ました。今年も「SDGs」に貢献する取り組みをは
じめ、憲法を守る運動、平和を求める運動などを事業
活動と合わせて取り組んでいきます。

今年が皆様方にとって健康で、笑顔あふれる年
になることをお祈りし新年のあいさつといたします。



さいたま住宅生活協同組合
理事長 後藤 晴雄

新年のごあいさつ

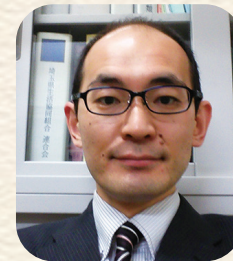
新年明けましておめで
とうございます。

新型コロナウイルス感
染症の拡大は、今なお埼
玉大学生協にも大きな影

響を及ぼしています。2021年は大学に学生さんの姿
が戻ってきましたが、2019年以前と比べるとまだ半
数程度の状況です。大学生の本分である学習もオン
ラインの授業が多く、部活動やサークルなどの課外
活動も制限がかかっています。2年続けてこのよう
な状況なので本来大学で経験することができる人と
人との繋がりが薄れてしまうのではないかと危惧し
ています。

そのような状況なので、埼玉大学生協では大学生
同士の交流やコミュニティ作りなどに貢献できるよ
うに様々な取り組みを行ってまいります。現在も4月
からの新生に迎えるべく、教職員・学生委員会一
同となって準備を行っております。

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。



埼玉大学生生活協同組合
専務理事 河本 健太郎

新年のごあいさつ

新年明けましておめでとう
ございます。

跡見学園女子大学では、4月から登校が再開とな
り、教科書の受け渡し、昼休みの需要など、少しづ
つ学内の活気が戻ってくるかな、という感じでした
が、4月末からの緊急事態宣言により、10月末まで
ほぼオンライン講義へ移行するなど、不安定な状
態となり、厳しい経営状況が続いております。

全国大学生アンケートでも「暮らしの危機」アル
バイトの収入が0～3万円「学びの危機」「つなが
りの危機」対面講義でも、友人がいなくて居場所が
ない、友人とつながれず孤独など、大きな不安が聞
かれています。

生協では、どうしたら学生さんの“危機”に対
応していけるのか、感謝されるた
めに何が
できるか、試行錯誤の
毎日です。学生と協力し、この
“危機”に総体で取り組んでいく
決意です。

本年もどうぞよろしくお願ひ
いたします。

